

いつも、インシデント報告ありがとうございます

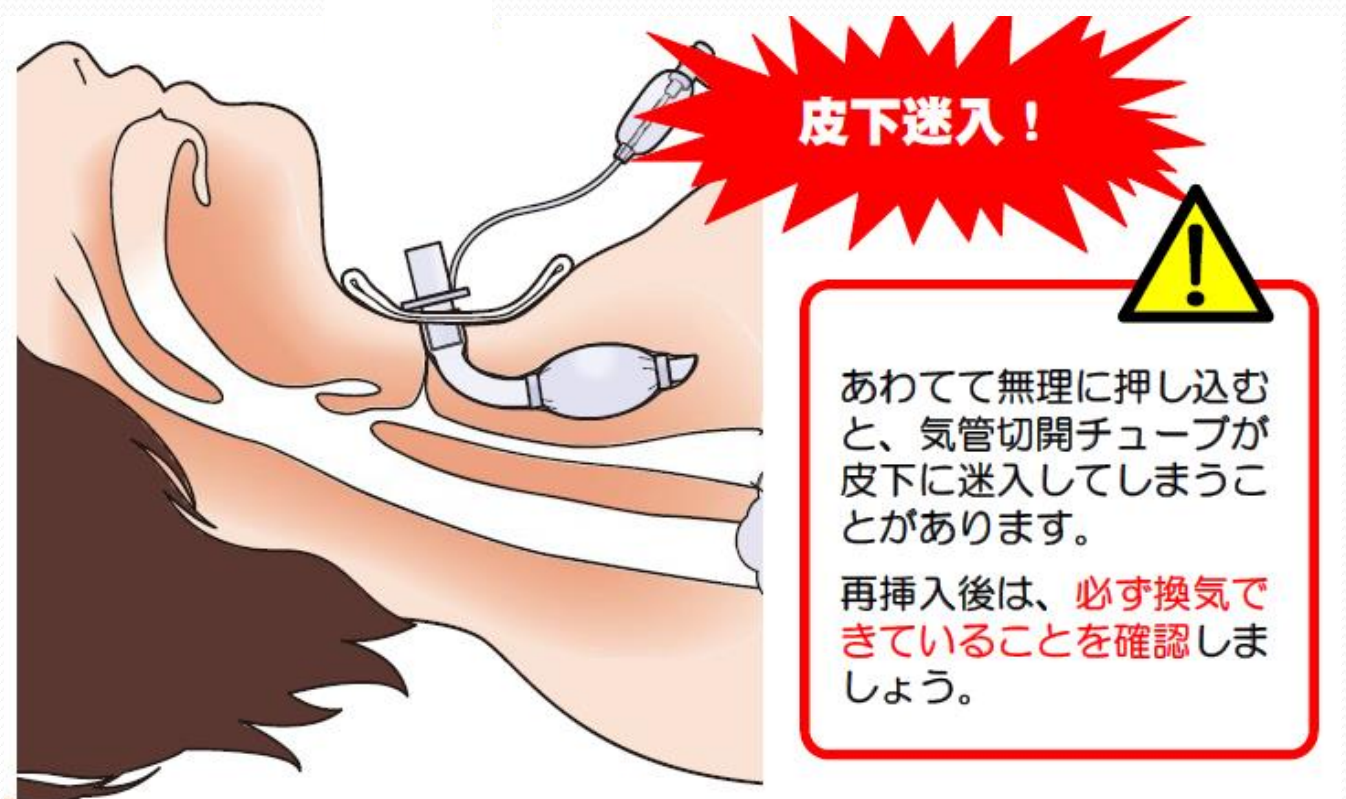
2017.12.18

# 京大病院医療安全情報97

## 【気管切開術後1週間のリスク管理-第2報-】

### 事例 【カニューレの皮下迷入による換気不良】

気管切開後2日後に気管カニューレからスピーチタイプのカニューレに変更を計画した。カニューレ交換時に、カニューレが皮下に迷入し、一時的に換気不良となった。



# インシデント報告に基づいた対策です

## 京大病院医療安全情報97

### 気管切開後1週間はカニューレを交換しない

気管切開後【1週間以内の】時期は  
瘻孔が形成されていないために再挿入が困難です

本事例では、呼吸状態には問題がなく、頸部腫脹による気道狭窄の予防目的の気管切開であったため、気管カニューレを入れ替えるリスクについて低く見積もっていたことも背景にあります。

1週間以内の入れ替えは、【安全のために】回避するほうがよいと改めて認識しましたので、警鐘事例として紹介しました。

なお、2013年10月にも第1報を出しております。

#### 再発防止にむけて

##### 気管カニューレが抜けないための対応



- 気管切開術後1週間以内は、気管カニューレの固定状態を頻繁に観察する。
- 体位変換は気管カニューレと人工呼吸器回路の接続部をはずして行う、または、複数の介助者で実施し1人は気管カニューレが抜けないよう保持する。
- 抜けやすいことが予測される場合には、気管カニューレを皮膚に縫合することや、切開時に軟骨両側に糸をかけておき事故抜去時に気道が確保できるようにする(stay suture)方法等を考慮する。

##### 気管カニューレが抜けた場合の対応



- 気管切開術後1週間以内の時期は瘻孔が形成されていないため、再挿入が困難であることを認識し、気管切開部への再挿入に固執せず、マスク換気や経口挿管等が必要。
- 気管カニューレ留置の位置確認方法として、カプノメーター(呼気炭酸ガス分圧を測定する装置)等の使用も検討する。